

## 明日のにつぼんの人材を わが街で共に育てる喜びを

夢育支援ネットワーク理事長  
島野浩二

今、私たちの住まう日本の社会は、高度成長、そしてバブル崩壊と様々な変化を経て、複雑な状況をはらんだものになっています。それは子どもたちの教育やその環境についても同様で、教育現場でそして各家庭で日々試行錯誤が重ねられています。

しかし、現状は学校だけ、ましてや個々の家庭だけでは大変な時代です。学校と家庭の連携はもちろん、そこに「多くの大人の目や手」「地域のサポート」があつたらどんなに心強いことでしょう。核家族社会、そして少子化社会だからこそ、地域の大人が地域の子どものみっていくという意思をもつことで、安全で豊かな教育が実現するのではと考えます。

夢育支援ネットワークは、三鷹市の公立小中学校での教育活動にあたり、以下のことを実践するために生まれた第三者機関(NPO)です。

①地域の人材の発掘・登録を行い、最適な形で各学校の教育の現場に派遣・コーディネートします。

②各学校に対して、地域の人材を活用した効果的な指導プログラム(例:キャリア教育、等)を開発し、提案します。

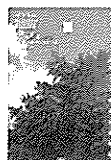
③三鷹市コミュニティスクール構想に基づいた、地域に開かれた学校づくりのノウハウを構築し、各学区に提供していきます。

教育は社会にとって最大の投資です。多面的できめ細かい豊かな教育を、大人たちからどれだけ提供できるかが、今問われているのではないのでしょうか。多くの方のご賛同・ご支援を願っております。

## ●関連書籍・マスコミ取材実績●

### 関連書籍

「子どもの夢を育む コミュニティスクール」  
貝ノ瀬 滋:編著  
教育出版株式会社



「子ども・学校・地域をつなぐコミュニティスクール」  
～「人間力」を育む三鷹四小の学校づくり～  
奥村俊子 貝ノ瀬 滋:著  
学事出版株式会社



### マスコミ取材実績(一部を抜粋)、他

#### ◆NHKスペシャル

「21世紀 日本の課題 学校を変えるのは誰だ」  
2004年11月放映

#### ◆総合学習研究発表会

※研究発表内で紹介  
2005年2月22日実施

#### ◆(社団法人)共同通信社

[通年企画「育てる」  
◎「先生ってすごいんだ」  
…授業に参加、保護者も育つ]  
2005年11月19日(全国39紙へ)

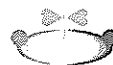
#### ◆読売新聞

[授業サポートするNPO]  
2005年7月18日教育面

編集・発行: NPO法人 夢育支援ネットワーク

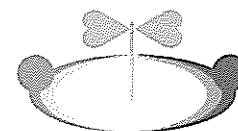
〒181-0002  
東京都三鷹市牟礼4-12-2

<http://www1.parkcity.ne.jp/muiku/index.html>



2007.3

## 夢育支援ネットワークのご紹介

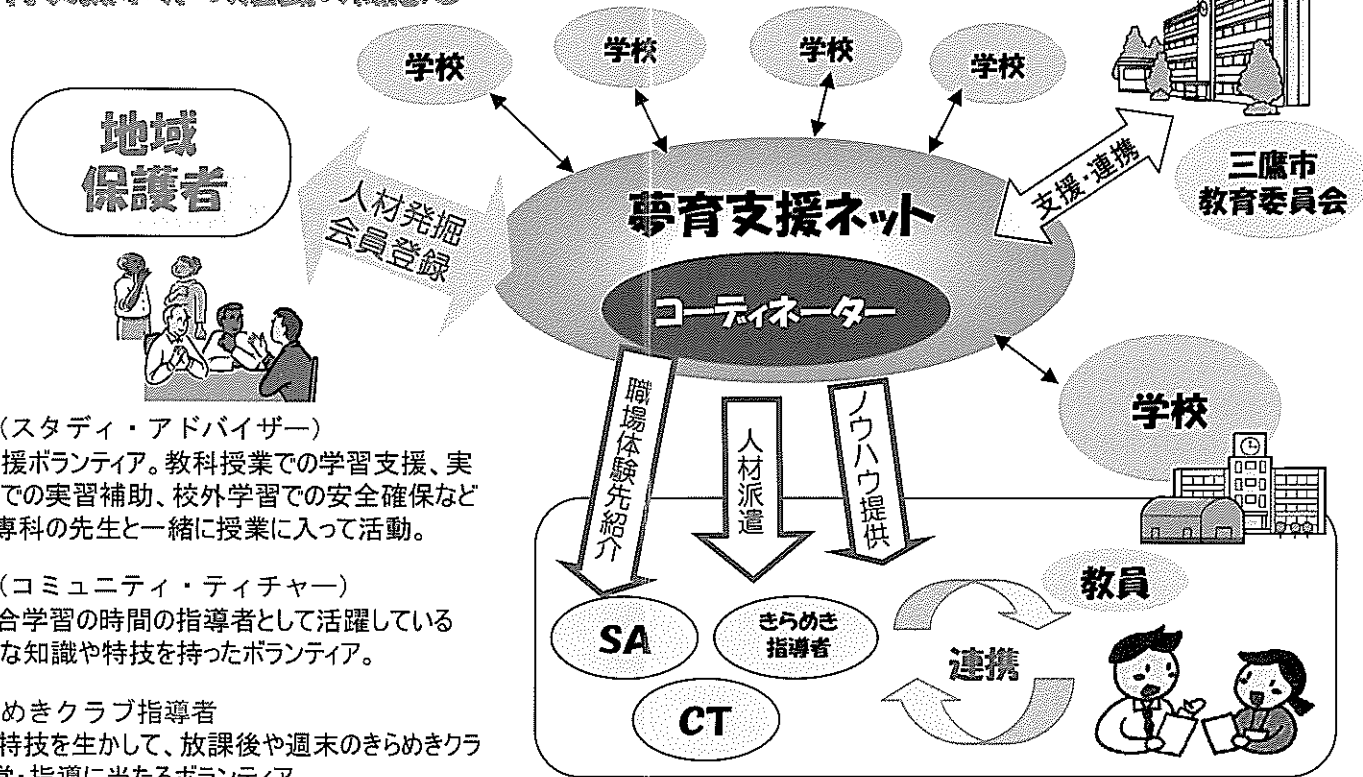


NPO法人 夢育支援ネットワーク

## ●夢育支援ネットワークのあゆみ●

- 2000年  
(平成12年) 「夢育の学び舎」構想打ち出し。  
SA登録者30名弱で実験的にスタート。  
※SA参加者調整:教頭が担当。
- きらめきクラブの活動始まる。
- 2001年  
(平成13年) 活動の中間発表。文部科学省の白書にも掲載される。  
※ SA参加者調整:教頭・クラス担任
- 2002年  
(平成14年) SA導入数が飛躍的に増加。  
SAのコーディネーター機能を担うSA事務局また活動全体の企画運営を行うNPO法人設立にむけての準備始まる。
- 「総合学習」開始に伴い、CTを活用した授業が始まる。
- 2003年  
(平成15年) NPO法人設立。SA事務局も発足しシステムの整備が行われ、現在の形に。  
※ SA参加者調整:SA事務局(学校側の依頼を配信。参加者調整、打合わせ日時連絡も。)
- 2004年  
(平成16年) 総合学習研究発表会にて紹介。
- SA登録者 122名  
依頼時間数 140時間(28単元)、  
参加延べ人数 794人  
きらめきクラブ登録数 25団体
- 2005年  
(平成17年) 文部科学省によるスクールミーティングの場で実績公開。
- 2006年  
(平成18年) SA制度の伝承・啓発を目指したSA推進プロジェクト開始  
キックオフ・フォーラム参加者108名
- 三鷹四小コミュニティスクール認定に伴い学校運営協議会に参加
- 2007年  
(平成19年) 地域教育推進ネットワーク・東京都協議会主催のコーディネーター交流フォーラムにて活動報告を行う。

## ●夢育支援ネットの活動の概念●



\*SA (スタディ・アドバイザー)  
学習支援ボランティア。教科授業での学習支援、実技教科での実習補助、校外学習での安全確保など担任、専科の先生と一緒に授業に入って活動。

\*CT (コミュニティ・ティチャー)  
主に総合学習の時間の指導者として活躍している専門的な知識や特技を持ったボランティア。

\*きらめきクラブ指導者  
趣味や特技を生かして、放課後や週末のきらめきクラブの運営・指導に当たるボランティア。

### 授 業

#### ①キャリア教育サポート



単なる団体での職場見学にとどまらず、少人数で実際に職場と実務を体験、インタビューとレポート作成もさせるもの。  
体験先の職場や講師の発掘や当日の指導のための講師向けガイダンスも含んだ夢育独自の指導プログラムです。

#### ②SA・CTによる授業サポート



SA・CTを活用することで、より専門性の高い授業、よりきめ細やかな、個に応じた授業を行うことができます。  
特にSAは特技や専門性がなくてもできる学習支援として多くの保護者・地域の人が活躍。事前の打合せ、授業終了後の感想シート記入・提出が活動に含まれているため、先生との連携が密に取られ、指導の充実にもつながっています。

### 課 外 活 動

#### ③きらめきクラブ指導



趣味や特技を持った地域のボランティアを指導者に、学校という場所を生かしてのクラブ活動を展開。  
学区内外の子どもたちや大人も参加できるクラブ活動やイベントを企画・運営します。